

卒業生の皆さん

ご卒業おめでとうございます。

例年ですと、納会で、皆さん一人ひとりの晴れやかな姿を前にしてご挨拶させていただくのですが、今回は、コロナ感染症対応で一堂に会することが出来ず大変残念です。

その分の思いも込めて、慶應陸上競技倶楽部を代表して卒業お祝いのメッセージをお送りします。

私は、昨年6月の会長就任にあたり、「競走部は、前身である徒歩部に遡り、明治、大正、昭和、平成と、いつの時代も、文武両道を基礎として、競走部での研鑽を力に、グローバルに、様々な分野で活躍する卒業生を輩出していることを大変誇りに思っている」とご挨拶させていただきました。

まさに、皆さんは、令和になって最初の競走部卒業生、陸上競技倶楽部会員であり、この伝統を引き継ぎ、令和の時代を切り拓く使命があります。

今、世界は、政治・経済、科学技術・文化、社会の様々な分野ですべてが大転換点にあります。

私は、この激動のさなかにあって、最も大切にしなければならないことは、先ずは、「自分はどうかありたいか」という未来をしっかり描き、常に持ち続けることだと考えています。

未来をしっかり描いて初めて、これまでに蓄積した経験が新たな意味を持つようになり、過去と未来が繋がって、今、何をしなければならないのかが見えてきます。

そして、加えて、「叶えたい未来、その夢」を堂々と宣言することです。口に出して誓うことで、志を共にする仲間が集まり、その仲間と一緒に困難を乗り越えていける、と信じるからです。

「志を立てて以て万事の源と為す」という吉田松陰の言葉がありますが、この言葉もそれを意味していると考え大切にしています。

皆さんは、慶應義塾大学、体育会競走部での経験を力に、これから様々な分野で、自ら選んだ道を歩み始めます。順風満帆なことばかりではないかもしれませんが、しかし、苦しい時は、この競走部の体験を思い出してみてください。きっと何か解決の糸口があるはずです。

さらに、皆さんには経験豊富で、幅広い人脈を持つ素晴らしい先輩がたくさんいます、先輩は必ず力になってくれます。

先輩、同期、後輩を問わず、その輪を一層広く、密にして、大いに夢を語り、仲間と一緒に、困難を乗り越え、夢を実現してください。

各界、各分野をリードする担い手として、大いに活躍していかれることを確信しています。

ご卒業おめでとう、そして、これからも益々、よろしく願います。

慶應陸上競技倶楽部 会長 田崎博道